

実務実習事前学習

■実務実習事前学習のねらい■

卒業後、医療、健康保険事業に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬説明などの薬剤師職務に必要な基本的知識と技能、および医療人としての態度を修得する。

■実務実習事前学習の一般目標■

1. 事前学習に積極的に取り組むために、病院と薬局での薬剤師業務の概要と社会的使命を理解する。
2. 医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために、処方せん授受から服薬指導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。
3. 処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を修得する。
4. 病院・薬局における医薬品の管理と供給を正しく行うために、内服薬、注射剤などの取扱い、および院内製剤・薬局製剤に関する基本的知識と技能を修得する。
5. 薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、患者が被る危険を回避できるようになるために、医薬品の副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
6. 患者の安全確保と QOL 向上に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
7. 病院実務実習、薬局実務実習に先立って大学内で行った事前学習の効果を高めるために、調剤および服薬指導などの薬剤師職務を総合的に実習する。

実務実習事前学習には、以上の一般目標を実現するための到達目標が77項目ある。到達目標と学習方法をまとめた表(福山大学事前学習方略;講義、演習や実習の区別や学習時間を記載)を、事前に確認しておくこと。

■使用テキスト&参考書■

- ・「スタンダード薬学シリーズ 日本薬学会編 実務実習事前学習」、東京化学同人(2009)
- ・「調剤学総論 改訂9版」堀岡正義著、南山堂(2007)
- ・医薬品集(書籍を特に指定はしないが、5年次の病院・薬局実務実習必要となるので、できるだけ各自で用意するように。)